

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第7期第7回相模原市中央区区民会議（全体会）		
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時	令和5年10月31日（火） 10時05分～11時05分		
開催場所	相模原市民会館 2階 第2大会議室		
出席者	委員	19人（別紙のとおり）	
	その他	2人（交通政策課2名）	
	事務局	19人（中央区長、中央区副区長、他17人）	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p>1 情報提供 （1）小田急多摩線の延伸に向けた取組について</p> <p>2 議題 （1）提言書の取扱いについて （2）提言書（案）について （3）各グループの進捗状況について</p> <p>3 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>		

主な内容は次のとおり。(◎会長の発言 ○委員の発言 ●事務局の発言 ◆交通政策課の発言)

開 会

区民会議規則第3条第3項の規定により、飯島会長が議事を進行した。

— 傍聴希望者 なし—

1 情報提供

(1) 小田急多摩線の延伸に向けた取組について

交通政策課(栗山総括副主幹)より広報さがみはら(8月1日号)の紙面において市民に情報提供した小田急多摩線の延伸に向けた取組について、情報提供を行った。

(主な意見等)

- 合意形成に向けては、東京都が重要であり、更に働きかけを行うべきである。
- 小田急多摩線の延伸に伴う技術的な検討もしっかり行うべきである。

2 議題

(1) 提言書の取扱いについて

・事務局より資料2「中央区区民会議における提言書の取扱いについて」説明を行った。

- ◎(飯島会長)
この取扱いのとおり進めることとしてよいか。
- 異議なし

(2) 提言書(案)について

・グループ3において決定した「広報さがみはらに対する提言書(案)」について、山口委員より説明を行った。

- ◎(飯島会長)
提言書(案)について意見等が無ければ決定としてよいか。
- 異議なし

(3) 各グループの進捗状況について

【グループ1】

- (加賀谷委員)
 - ・「子育て支援」～こどもに学習の場を提供する～
この課題は、人・場所・金であり、その中でも一番の課題は担い手不足である。
行政は、大学生以上の担い手の対象者に声かけやSNSで発信をしてほしい。
既に、青山学院大学や桜美林大学のボランティアセンターには社会福祉協議会から声かけをしているが、市と14の大学が包括連携協定を締結しているため、大学へのボランティア参加を呼びかけてほしい。
子ども食堂における担い手の対象は、大学生のほか、子どもの時からボランティアを体験してもらう意味から、小学生・中学生や進路を真剣に考えだす高校生、支援を受ける対象となる子どもの若い保護者世代にも支援する側に回ってもらうことにより、団体の存続・継続に繋げていけたらよいという意見が出た。

・「こどもの健全な育成環境の充実」

このテーマにおける担い手不足の問題は、ボランティアに参加したいが、教員資格を持っていないことや学習の指導方法が自分の時とは異なっていることへの不安から、教える自信が無いという方がいるので、そのような不安等を解決できるような研修を実施してほしいという意見が出た。

また、子どもの居場所についての周知だけでなく、どこでどんな担い手が必要でどんな活動をしたら良いのか等を発信し、ボランティア参加の相談を受ける窓口が必要で構築してほしいという意見が出た。

会場確保の問題については、市が公民館、児童館、地域の空き家等の活用について取り組んでほしいという意見が出た。

【グループ2】

- (横山委員)
1つ目は、私(横山委員)が出席した外出支援の研修内容について情報提供を行った。

情報提供の内容については、住民同士で助け合う取組として、ケアプラザの車両や助成を受けて無償で買い物・通院の移動支援をするケース、社会福祉法人から車両を借りて有志の方が運転し、市が燃料費を負担するケース、プロジェクト会員が楽しいお出かけを企画し、公用車を借用し、市の職員が運転するケース、4者で協力してコミュニティバスのように運行するケースなどを紹介した。

2つ目は、今後、提言書を作成する内容について話し合いを行った。

まず、現状について、高齢者世帯などが増加する中で、移動手段の確保が各地域の重要な課題のひとつとなっているのではないかと。また、移動支援の取組が、地域の移動手段を取り巻く環境の改善に繋げるとともに、高齢者の生きがいや健康寿命の延伸に繋げることとなるのではないかと考えている。

次に要望先となる取組主体については、相模原市自治会連合会、各地区自治会連合会及び単位自治会、また、相模原市を考えている。

相模原市自治会連合会に向けては、活動経費の助成などを行う市の支援制度である「地域おでかけサポート推進事業」などを活用した事業の検討についての要望。

相模原市に向けては、地域の移動支援を検討する団体に対して、「地域おでかけサポート推進事業」や先行事例等の情報提供を更に推進していただくとともに、移動支援の事業を実施する際の課題に対して、必要に応じて指導及び助言をする機会を更に充実していただくよう要望していければと考えております。

まとめとしては、地域内において生活に必要な外出に対して地域が主体となって移動支援を行っていくことが、地域による移動支援の目指す姿であるのではないかと考えているので、本日の内容を踏まえ、次回は提言書の案の内容について議論をする予定である。

【グループ3】

○（森田委員）

都市の自然を次世代に繋げるまちづくりについて、地域の方々が少しでも多く関心を持っていただくために、例えば中央区の花を選定したり、中央区が分かる講座を開催したりして考えてみようかと当初は考えていた。

まず、現状把握として、8月22日に山口委員や地域の方がご尽力いただいている緑地を視察し、その後、博物館で学芸員より在来種や外来種など地域の様々な自然について話を聞いた。その中で感じたのは、相模原市に合った木々や植物の歴史があることを知った。しかし、年々この自然を維持するのが難しい状況となっている。失われた自然を元に戻すことは難しいため、今できる事として、現在の自然を守っていくことがとても大切だと感じた。そのため、関心のある方だけでなく、市民全体の意識を高めることが大切であると至り、それをどのように市民にアプローチしていくかということについて次回議論する予定である。

◎（飯島会長）

私も視察・勉強会を拝見し、この緑地・自然をどう残していくのか、あるいは、この緑地や自然があることをどのように市民に周知していくのか。また、博物館にあれほどの知見を有する方がいるということが、地域に知られていないことが、すごく残念に思う。そういう意味でも、市民にどのようにしてこのすばらしい地域の自然について興味を持ってもらい、広めていくのかというのがとても大事なことだと思うので引き続き検討をお願いしたい。

3 その他

・事務局より今年度中に実施予定の区民アンケートについて事前に情報提供を行った。

◎（飯島会長）

他区でも同様にアンケートが実施されるのか。

○（中央区役所区政策課梶原課長）

他区では実施していないが、区の基本計画は総合計画の中に位置づけられており、毎年、総合計画の進捗状況の把握としてのアンケートは実施されている。

・事務局より今後のスケジュール（資料5）について説明を行った。

4 閉会

以 上

第7期第7回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	飯 島 泰 裕	学識経験者（青山学院大学）	会 長	出席
2	入 谷 利 郎	小山地区まちづくり会議		出席
3	小 川 紳 夫	相模原市公民館連絡協議会		欠席
4	加賀谷育子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
5	桑水流良光	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
6	小 林 充 明	上溝地区まちづくり会議	副会長	出席
7	斎 藤 奈 美	特定非営利活動法人 a n d A d v a n c e		欠席
8	酒 井 志 保	相模原市PTA連絡協議会		出席
9	坂 本 洋 三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
10	清 水 洋 子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
11	代 田 修	田名地区まちづくり会議		出席
12	末 永 暁 子	横山地区まちづくり会議		出席
13	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議		出席
14	高 橋 采 花	公募委員		欠席
15	田 所 豊	相模原交通安全協会		出席
16	丹 波 晴 道	清新地区まちづくり会議		出席
17	中 村 太 郎	相模原商工会議所		出席
18	原 田 克 也	一般社団法人相模原市医師会		欠席
19	水 谷 好 男	公益社団法人相模原市観光協会		欠席
20	森田麻里子	公募委員		出席
21	八 木 貴 弘	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
22	八 木 鉄 雄	星が丘地区まちづくり会議		出席
23	山 口 信 郎	大野北地区まちづくり会議		出席
24	横 山 志 穂	公募委員		出席
25	割 柏 秀 規	光が丘地区まちづくり会議		出席